

◆クラブテーマ◆

「八重山の未来へ奉仕しよう」

会長：黒島 剛 副会長：大浜 勇人 幹事：吉田 貴紀 副幹事：松田 新一郎  
公共イメージ委員長：山下 暢 SAA・出席委員長：玉城 力  
クラブキャッチコピー：島のリズムで伝える平和と奉仕のくる(心)

今月のロータリーレート 1\$¥114

島素材の産物

～島の素材を活かす知恵と技～

【トケイソウ】

ゼンマイ仕掛けの時計のような魅惑的なトケイソウの花。種類は500種以上あり、その中のクダモトケイソウの実がいわゆる「パッションフルーツ」。芳醇な香りと鮮烈な酸味、果実として食用になるほか搾汁して、ジュースやジャムなどに加工します。川平ファームでは搾汁の際に種子を分別、1個に約200～300粒ある廃棄物だった種子からコールドプレス(搾油機)でシードオイルを抽出し、スキンケア用オイルとして再利用しています。



[資料協力:川平ファーム]



SERVE TO  
CHANGE LIVES

奉仕しよう みんなの人生を豊にするために

2021-22年度RIテーマ

RI会長：シェカール・メータ

地区ガバナー：若林 英博氏

「世界で、日本で、地域で良いことをしよう」

☆大きな目標と5項目☆

- 1.新型コロナウイルスで困っている人々を支援しよう
- 2.ポリオ根絶に向けて頑張ろう
- 3.元気なクラブになろう
- 4.会員増強・クラブ拡大をする覚悟をもとう
- 5.ロータリーの公共イメージをアップさせよう

11月のプログラム 11/10(水) ゲスト卓話並びに創立60周年記念慰労会(ゲスト:中山義隆市長)

例会日 水曜日 12:30～13:30  
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4  
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>

例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311  
TEL/FAX(0980)83-2917  
E-mail [ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp](mailto:ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp)

- ☆会員総数: 45名 出席義務会員数: 44名
- ☆出席人数: 24名 欠席人数: 20名 出席率: 54.54%
- <司会進行: 玉城 力>
- ☆ロータリーソング: えんどうの花 四つのテスト
- ☆ソングリーダー: 東上里 和広
- ☆メークアップ: 遠藤 正夫 森田 安高 大瀧 達也

## 会長挨拶: 黒島 剛



前本組、50周年おめでとうございます。昨日、新垣精二プログラム委員長と吉田幹事とともに市長を訪ねました。夜間例会で卓話をお願いし、その後はみんなと食事をしましょうと話したところ了承して頂きました。私事ですが、還暦を迎えることになりました。11/7に八重山全体の同窓生で還暦祝いをしようという運びで進んでいます。コロナ禍のなかで、いろいろな意見が出ていましたが、コロナも収束してきているのでアートホテルでやりましょうと話が進んでいます。その中で、大和に行っている同級生とかが来づらいつつということで、Zoomで同級生の顔を撮し、おしゃべりをしながら同窓会をしようと思いがだんだん煮詰まってきました。皆さんもそうだと思いますが、マンモス校の石中、二中が話がぜんぜんまとまらないんです。石中がこうしたい言えば二中はイヤこうじゃないという、全体の物事をしようとするとしてもマンモス校の石中と二中が表に出て来て話をしますが、なかなかまとまらない。そうしていると石中と二中以外の中学校の皆さんは、自分たち田舎の方でも窓口があるから、合わさなくてもいいよと、だんだん悪い方に話が進んで行って、まとめるのが大変だと思っています。石中と二中の永遠のテーマになっていくのではないかなと60歳になってまた改めて思いました。去年の子年の皆さんが還暦祝いが出来なくて残念だったんですが、我々はいいいタイミング出来そうな雰囲気ですので、思い切って盛大に還暦祝いをしたいなと思っています。今日は、宮城早人さんの会員卓話となっております。我々メンバーのなかにも子や孫たちが塾でお世話になっている方もたくさんいらっしゃると思います。楽しい話が聞けると思っています。宮城早人さんよろしくお願ひ致します。

### ◆◆◆幹事報告: 吉田 貴紀◆◆◆

本日の報告は2点ほどございます。11/4にコザRC創立60周年記念式典・祝賀会がコザの方で開催されます。場所は、オキナワグランメルリゾートです。石垣RCからの出席者は12名となっております。登録はまだ可能ですので、お時間の都合がつく方はぜひご参加ください。久しぶりに石垣RCのメンバーと那覇に行って、他のクラブのメンバーとの交流もしていきたいなと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。続きまして、RLIの講習のご案内が来ております。RLIはロータリークラブの勉強やリーダーシップ等の勉強をRLIパートI・II・III、そして卒業コースの計4回に分けていろいろ

と勉強する場がございます。せっかくロータリークラブで活動するのであれば、クラブのことを分かった上で活動していただければ成長にも繋げることもありますので毎年開催されています。11/23(火)に沖縄本島で開催されます。全ての会員が対象となりますので、積極的に参加していただければと思いますのでよろしくお願ひ致します。

### ◆ 会員・委員会からの報告 ◆

**松田新一郎米山委員長:** 今月は米山月間ということで多数の皆さんからご寄付を頂きました。感謝の気持ちを込めてこの場でご紹介したいと思います。大瀧達也さんは10万円の高額寄付を頂きました。そして、大浜副会長、今西さん、南波さん、仁開さん、新川さんの皆さんからご寄付を頂きました。ありがとうございます。引き続き米山委員会にご支援ご協力お願ひ致します。

**新垣精二プログラム委員長:** 11/10の例会についてお知らせいたします。中山市長には以前から卓話の依頼をしておりました。昨日、黒島会長・吉田幹事と訪問し正式に決まりました。森田直前会長のスケジュールも合いましたので、11/10は夜間例会に変えさせて頂いて、中山市長の卓話と60周年のブガリをしますので出席をお願い致します。

**前木繁孝氏:** お知らせとお願いです。テーブルの上に弊社のかわら版とイベント情報を置かせて頂いています。実は弊社は今年50周年にあたりまして、会社の向かいにある打ち合わせとかに利用しているカフェがありますが、そこが10周年という事で音楽イベントを計画いたしました。ズーッと活動が出来ていなかったミュージシャンの皆さんは、この鬱々とした思いをしてこられたわけですが、ここで何とか出来るだろうと判断し計画を表に出していこうという事で、ミュージシャンの方に声をかけましたら、わずか1日で日程が全部決まりました。その日程がかわら版の差し込みページに入っています。地元で活躍するミュージシャンの方ですので、お時間の取れる方は、応援も兼ねて来て頂ければなと思います。宜しくお願ひ致します。お陰様で50周年を迎えることができましてありがとうございます。

### ◆ 会員卓話: 宮城 早人氏 ◆

#### テーマ: 大学入試について

皆さんこんにちは。本日卓話を仰せつかりました宮城です。本日の卓話につきましては先週木曜日プログラム実行委員長の新垣さんのほうから連絡があり、「予定していた方が準備できていないようで、急ではありますが宮城さんをお願いしたいです。」と、そして最後に「助けてください」とまでメッセージがありました。悩みました。ただ先輩である新垣さんから助けてくださいとまで頭をさげられると、これは奉仕の精神を旨とするロータリアンとしての沽券(こけん)にも関わることと考え、お受けさせていただくことになりました。これからの大学入試というのは、コロナの前はだいぶいろんな情報があつて皆さんの方には分からない事も多いかと思ひまして、そういったところも含め、たまたまこういう商売をしているものですから、かいつまんでご説明させて頂きたいと思ひます。こここのところ大学入試の話となるとニュースで五月雨的に報道され、親である我々世代が経験してきた大学受験とは大きく変遷しており、さっぱりわからないという声もよく聞かれます。入試改革によりセンター試験に代わり、新しく「大学入学共通テスト」が今年から導入されました。1949年に始まりました大学入試「一期・二期校制」の目的と言うのが各都道府県に大学を置い

て、都市部への進学を集中を防ぎ複数の有名国立大学への受験を阻止するという狙いがあった、3月初旬に一期校、3月下旬に二期校という国立をW受験できた時代があったわけです。ただ、課題としては大学の先生が難問・奇問を作ったり、高校生では解けないだろうという問題を作ったりなんかしていた時代があったわけです。一期校への優秀な学生の集中や序列化による「二期校のコンプレックス」などが問題視されていた一期・二期校制度でしたが、一度の試験だけでなく面接など多様な面から選考すべきとの理由で廃止され、1979年(昭和54年)に面接との導入が始まった「共通第一次学力試験」これがだいたい続きましたが、難問・奇問を廃し、学力を判断する良質な問題を確保。大学間の学歴差別の緩和ということ、国公立大学で同日・同問題で試験を実施、それから各大学が二次試験を課すという形にはなってきました。また、これも偏差値を重視した進路指導になったり大学ごとの成績の優劣による学歴差別や一発勝負のため受験戦争が激化してきたというもあるわけです。1990年に良質な問題の確保につながった「大学入試センター試験」が去年まで実施されていましたが、これも課題として残っているのが思考力や問題解決力が必要される時代に沿う試験内容ではないということで、それが移行することに繋がったわけです。日本の国際的ポジションとどうして大学入試をそんなに改革しなくてはいけないかということについて説明いたします。日本の国際競争力の低下についてでありまして、スイスの国際経営研究所が発表した、世界競争力ランキングで2020年に日本は30位、そして2005年日本の半分しかなかった中国のGDPは今や日本の2.5倍、日本のGDPは世界で3位だが、国民一人あたりに換算すると30位、生活満足度でもOECD36カ国中27位と先進国の中でも下位に停滞しているということです。科学技術立国である日本が新興国の台頭などにより国際競争力が低下している。画一的なものの考えにとらわれてしまう傾向にあるとされる日本人が枠にとらわれる思考傾向のあまり自由闊達に思考ができず発明や特許などに後れを取り始めている。グローバル化の進展の中で国際言語である英語力が試される場面で日本人の英語力が弱いと指摘されている。※日本人の英語力は世界55位。大学入試改革の必要性については、「高度情報化」、「AI研究の発展普及」、「グローバル化」、「新興国の台頭」、教育こそが国力発揚の要諦であるということ。日本が世界で生き残っていくためには時代に耐えうる人材を育成しなければならない！⇒教育のバージョンアップが必要不可欠！⇒このままだと日本の競争力は落ちていく一方！⇒新しい社会で活躍できる人材をたくさん輩出できるように教育そのものを変えよう！⇒大学入試を見直しのターゲットにしたのは、大学入試が小中高教育のゴール⇒だから、ゴールそのものを変えることでゴールに至るプロセス(小中高教育)も見直していこう！それともう一点、英語教育の緊急的かつ格段的向上の必要性というのが言われています。グローバル化の進展の中で国際言語である英語力が試される場面で日本人の英会話力が弱いと指摘されている日本人の英語力は世界55位、英語力が低い3つの原因①日本は市場規模が大きいから②日本語と英語は最もかけ離れた言語形態だから③日本には外国人が少ないから、日本人が英語を学ぶべき3つの理由①市場規模が縮小し海外に目を向けてなければならないから②外国人労働者が増えるから、③働き方が

大きく変わるから(外国人メンバーとの協働)・言語的に英語に最も速い日本語話者が英語で日常会話ができるようになるのも2700時間程度はかかることとされ、しかも学術論文を書けるようになるには5000~6500時間かかるといわれている。日本の小学校から高校までの英語の授業は全部で1000時間程度、日本人は英語が下手なのではなく英語に接している時間が絶対的に足りない」との専門家の指摘もある。このような労働力の大幅な減少、通信技術の急激な発達、グローバル化、人口知能(AI)の実用化等々の大学入試を変えていかないといけないということになります。大学入試に新しい制度に必要な「学力の3要素」とは、なぜ、センター試験が廃止され、共通テストに変わったのか。知識を持っていることが評価された。ただ、インターネットやスマートフォンの普及により情報はいつでも簡単に手に入るようになった。単に知識を問う問題だけではいけない。問題を解決する力、「学力の3要素」を問う入試にしていく必要があるということなんです。学力の3要素なんですが、①知識・技能②思考力・判断力・表現力③主体性・多様性・協働性のこれらが必要とされる。今までは、センター試験あたりでは、知識を問うばかりだったけれども、これからは共通テストで、思考力・判断力、最終的に主体性・協働性まで仕上げていくというような形です。2021年の今年から、新時代の入試の形となる「大学入学共通テスト」というのが始まったわけです。マークシート式+記述式ということだったけれども、記述式問題ということは、採点が見送りになりました。これは、採点する側にばらつきがあって公平な採点にならないということと、英検の民間試験の活用ということで大学共通テストのなかに取り入れることはなくなったということです。2021年1月からセンター試験に準ずるという形で既に共通テストが始まっております。出題方式もマークシート方式で記述式ということはなくなりました。平均得点率が5割という非常に難しい試験になっております。国語、数学などは記述式を出題するとなりましたが、導入が見送り、資格・検定試験も見送りとなったわけです。皆さんの手元にあります「大学入試Navi」という冊子を手にとって頂き9ページをご覧ください。数学の問題がございます。今まで数学ⅠAは60分から70分でページ数が8ページ増加し回答数11問増加しています。単純な知識の応用ではなく、問題に合わせた思考力が必要！数学ⅡBだと生徒の会話から考察する問題が出題とかがあります。そして理科の問題では、物理に「ダイヤモンドが輝く理由」などの問題が出されます。科学では、複数の資料や初見の資料を多用して思考力を問う問題が増加してきています。新しい入試制度を今年から始まった生徒さんはこれに向けてこういう勉強をしていくということで、非常に大変な苦労されて勉強していると言えるわけです。12ページの地歴・公民などもグラフや写真といった問題が多く出されてその中から、落ち着いて時間内に資料を読み取る能力が必要であるという試験に変わってきているのが今の新しい大学入試の共通テストの問題内容であります。それから2022年度から高校の教科書が変わります。今の高校1年生までは、今まで通りだったのですが、今の中3から変わります。ですから今の校1は留年するときついということになります。例えば、地理・歴史だと世界史と日本史の垣根がなくなってくるということになってきます。歴史総合になります。あと現代社会がなくなって、公共という科目が増えます。それから情報Ⅰ「プログラミング」が全員必修になります。プログ

ラミングも共通テストに出されるような事になります。英語外部検定試験は、読む・書く・聞く・話す、この話すのが日本人は弱いと言われていますが、この英語外部検定試験は共通テストでは導入は見送りになりますが、大学側では外部検定試験を見るよという大学も結構あります。412の大学が英語外部検定試験で英語を採点します。学校によって違いますが、英語外部検定試験には英検が一番使われています。ですから英検もしっかり受けて試験に向けていきましょうというような形になっています。2021年から大学入試はこう変わったというのは、センター試験、一般入試、指定校推薦入試、AO入試と、入試という言葉が変わって一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜、選抜はどうかということ、受入れる大学側が取るよという意味です。大学側がアドミッションポリシーを示して取るということです。国公立大学と私立大学の入学者全体の45.2%が推薦・AO入試によるものだということをご承知おき下さい。国立大学では全体の15.8%、一般入試による入学者が8割以上、今年からは国立大学全体としてAO入試、推薦入試の占める割合を30%とすることになってきています。推薦の対策というのが必要になってきます。大学入試の今の流れでは、国公立大学に入りたいなら共通テストを受けて書く大学側が個別に行う試験を受けて頂く。私立大学では、

共通テストは受けなくてもいいけれども、個別に行う試験を受ける、ただ調査書や志望理由書などを課せられる時代になってきています。八重山高校の進路状況では、私立大学46%、国公立大学12%というようなことで、私立大学が半数ではありますが、「共通テスト」と「調査書」が重要でありますし、受験者の半数が推薦入学者であるということです。私共の方をご紹介しますと、会社のなかに教育事業があって、ブロードバンド予備校などもさせて頂いています。新垣さんの娘さんは当塾に高校3年間通っていただき、見事関西の難関外国語大に合格された卒業生です。また、宮良榮子さんのお孫さんも卒業生で、米盛博和さんの息子さんと大浜達也さんの娘さんもそれぞれ高校3年間当塾に通われて、それぞれ東京の有名大学へ合格された卒業生です。また、幹事の吉田貴紀さんの娘さんも福岡の有名大学へ合格された卒業生です。現在は幹事の吉田さんの二女さん東上里和弘さんの娘さんも通塾中であります。2021年1月が来ますと創業10周年になります。おかげさまで、これまで多数の卒業生に志望する中学や高校や大学や専門学校へ輩出することができました。多くの保護者様・生徒様や地域社会からご支持ご愛顧を受けてきた賜物であり、感謝に堪えないところであります。今日は、ありがとうございました。

～ 例会風景 ～



10.月に誕生日を迎えられました  
上原晃子さん、今西敦之さん、  
松田新一郎さん  
おめでとうございます



**本日のニコニコ:** ☆黒島剛氏: 宮城さん、いきなりの会員卓話ありがとうございます。☆宮良榮子氏: 宮城さん、若い方の活躍に感謝

☆上原晃子氏: 10/23 誕生日を迎えました。明るく。たのしく。元気よく歩みたいとおもいます。☆前木繁孝氏: 宮城さん、卓話ありがとうございました。☆橋本孝来氏: 漢那さん、おむすびの差し入れたくさん頂き、ありがとうございます。☆大浜勇人氏: 宮城早人さん、卓話ありがとうございました。☆宮城早人氏: 今日は卓話を聞いていただきありがとうございます。9月末に新築落成いたしました。来月にささやかながら新築祝を開催し、ロータリーメンバーの皆様もお招きします。皆様起こりいただきたく後日ご案内いたします。☆東上里和広氏: 私の娘を東大まで導いてください。卓話とても参考になりました。☆吉田貴紀氏: 宮城早人さん、会員卓話ありがとうございます。また、塾で娘がお世話になっております。☆今西敦之氏: 宮城委員長、卓話ご苦労様です。あ上原晃子バスト会長、いつもありがとうございます。☆山下暢氏: 宮城さん、卓話ありがとうございます。☆松田新一郎氏: 米山奨学委員会にご協力ありがとうございます。引き続き皆様のご支援、ご協力、ご寄付宜しく願いいたします。☆新垣精二氏: 宮城さん、卓話ありがとうございました。感謝しています。

◆BOX ¥1,7000 (累計 ¥74,000) ◆コイン ¥3,221 (累計 ¥21,236) 合計 ¥95,236



宮良 榮子氏 5日(金) 山下 暢氏 9日(火)  
上原 秀政氏 17日(水) 森田 安高氏 19日(金) 東上里 和広氏 21日(日)

